



# Information Technology & Management Exam

## ITパスポート

担当：新田

ITパスポートって何？

# ITパスポート（iパス）とは？

iパスは、ITを利活用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる**国家試験**



ITに関する知識にとどまらず、企業活動、経営戦略、会計や法務など、ITを活用する上で前提となる幅広い知識がバランス良く習得できる。



## 対象者

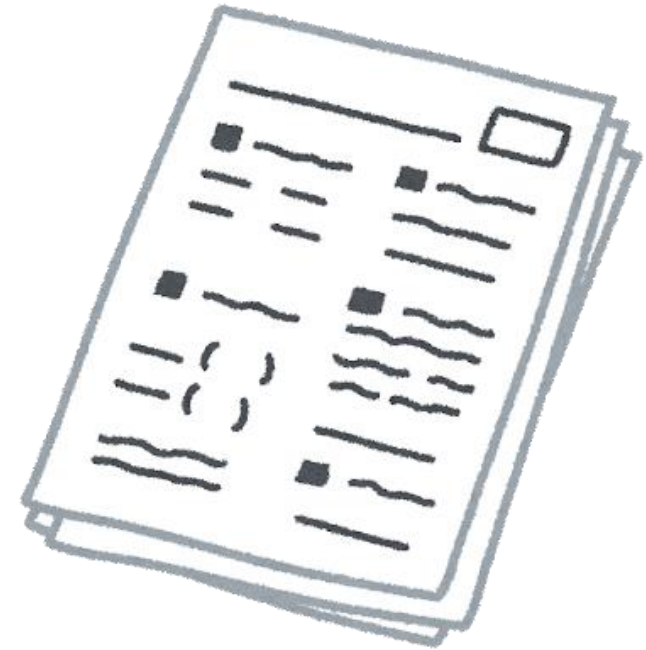
IT に関する共通的な基礎知識 をもち、IT に携わる業務に就くか、担当業務に対して IT を活用していこうとする者。

## レベル

情報技術に携わる者に必要な最低限の基礎的知識を有し、要求された作業について、指導を受けて遂行できる。

# 試験概要

- ◆ 試験時間：120分
- ◆ 出題数：100問（CBT方式）
- ◆ 出題形式：4択問題
- ◆ 合格基準：
  - 総合評価点 600点/1000点満点
  - 分野別評価点 300点/1000点満点



つまり・・・

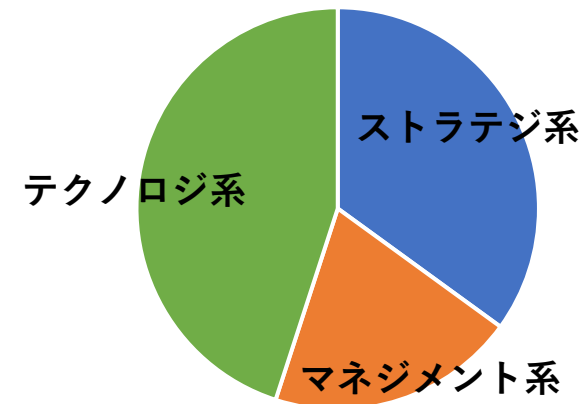
100問中（おおよそ）60問以上正答

ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジー系をすべて3割以上正答



# 出題範囲

ITの知識だけでなく、企業に関する知識や法務、経営戦略など、ビジネスに通じる知識も必要！



## ストラテジ系

- 企業活動
- 法務
- 経営戦略マネジメント
- 技術戦略マネジメント
- ビジネスインダストリ
- システム戦略
- システム企画

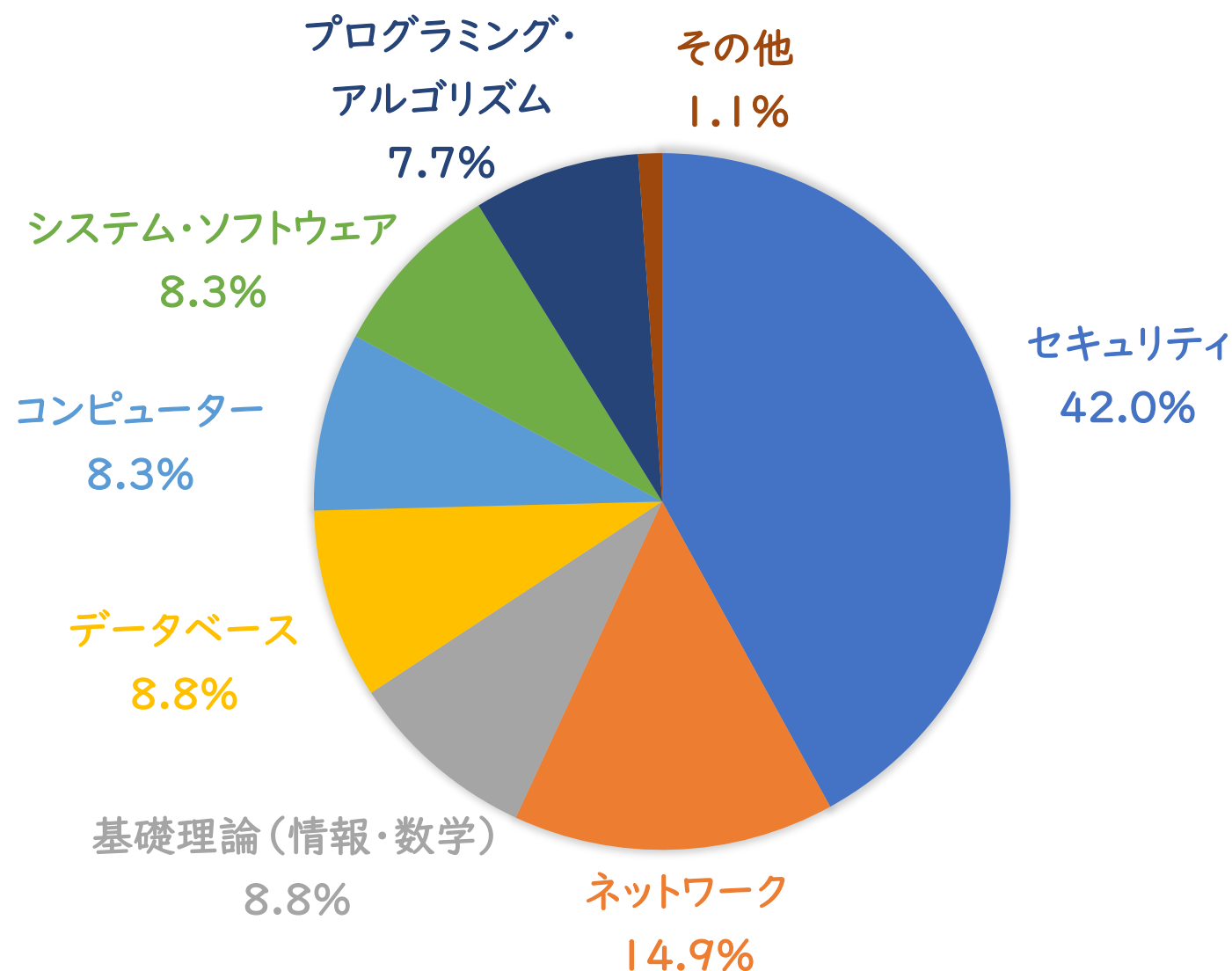
## マネジメント系

- システム開発技術
- ソフトウェア開発管理技術
- プロジェクトマネジメント
- サービスマネジメント
- システム監査

## テクノロジー系

- 基礎理論
- アルゴリズムとプログラミング
- コンピュータ構成要素
- システム構成要素
- ソフトウェア
- ハードウェア
- 情報デザイン
- データベース
- ネットワーク
- セキュリティ

## テクノロジー系出題割合



セキュリティに関する問題の比重が大きい。

プログラミング・アルゴリズムの問題に疑似言語が導入され、難易度が上昇。

### ◆高確率で出題されるもの

- ・ディープラーニング
- ・生成AI
- ・OSS(オープンソースソフトウェア)
- ・電子メールの To、Cc、Bcc
- ・ソーシャルエンジニアリング
- ・リスクアセスメント
- ・デジタル署名
- ・バイオメトリクス認証

# シラバスで確認しよう！

- 問題集や対策本、Webサイトの情報が最新とは限らない！
- 試験範囲の内容をすべてをカバーすることは難しいですが、一度は目を通しておきましょう！

[https://www.ipa.go.jp/shiken/syllabus/nq6ept00000014eh-att/syllabus\\_ip\\_ver6\\_3.pdf](https://www.ipa.go.jp/shiken/syllabus/nq6ept00000014eh-att/syllabus_ip_ver6_3.pdf)

※ ver 6.2 ⇒ ver 6.3になる際に、新しい用語が**132個**増えました。  
過去には一切出題されていない問題が今後増えることが予測されます。

近年話題の「生成AI」や「MR」、新たに範囲に追加された「文字コード」、  
「疑似言語」、新しい「攻撃手法」や「認証技術」などは要確認!!!



ポイント

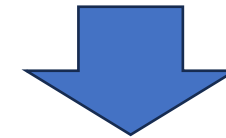
<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/about/range.html>

項目	内容
試験時間	120分
出題数	小問：100問（*1）
出題形式	四肢択一式
出題分野	ストラテジ系（経営全般）：35問程度 マネジメント系（IT管理）：20問程度 テクノロジー系（IT技術）：45問程度
合格基準	総合評価点600点以上であり、かつ分野別評価点もそれぞれ300点以上であること  総合評価点 600点以上／1,000点（総合評価の満点）  分野別評価点 ストラテジ系 300点以上／1,000点（分野別評価の満点） マネジメント系 300点以上／1,000点（分野別評価の満点） テクノロジー系 300点以上／1,000点（分野別評価の満点）
試験方式	CBT（Computer Based Testing）方式（*2） 受験者はコンピュータに表示された試験問題に対して、マウスやキーボードを用いて解答します。
採点方式	IRT（Item Response Theory：項目応答理論）に基づいて解答結果から評価点を算出します。

（\*1）総合評価は92問、分野別評価はストラテジ系32問、マネジメント系18問、テクノロジー系42問で行います。

残りの8問は今後出題する問題を評価するために使われます。

見たことのない問題が出題される！  
表現や切り口を変えた問題も多い。



丸暗記だけでは対策は不十分  
内容をきちんと理解する必要あり！

# 英語の略称は、正式名称も確認！！

CRM (**C**ustomer **R**elationship **M**anagement)      意味:顧客関係管理

カスタマー → お客

RFP (**R**equest **F**or **P**roposal)      意味:提案依頼書

リクエスト → 依頼

SLA (**S**ervice **L**evel **A**greement)      意味:サービスレベル合意書

サービス レベル

VPN (**V**irtual **P**rivate **N**etwork)      意味:仮想的な専用ネットワーク

バーチャル → 仮想的

正式な名称は忘れても、単語が分かれば問題が解けるかも！

# 図表や計算問題を簡単に捨てない！

暗記用語は、覚えていない or 知らない場合、どうしようもない

計算問題は、時間をかければ解ける可能性 & 予測がある程度可能！！

→ 問題文中の数字を単純に足したり掛けたものは、大体ハズレ

120kステップのソフトウェアを開発した。開発の各工程における生産性の実績が表のとおりであるとき、開発全体の工数は何人月か。ここで、生産性は1人月当たりのkステップとする。

単位 kステップ/人月	
工程	生産性
設計	6.0
製造	4.0

ア 10

イ 12

ウ 24

エ 50

よく考えると、120kステップの設計と120kステップの製造が必要と分かる。

$$120 \div 6 + 120 \div 4 = 20 + 30 = 50$$

# ITパスポートについて知る

- ITパスポート公式サイト

<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

- ITパスポート過去問道場

<https://www.itpassportsiken.com/ipkakomon.php>